

介護職にリハ研修 専門職並み知識習得



▲職員にリハビリについての教育を徹底。利用者2人3脚で自立支援を行う

寝かせきり介護
疑問を感じ今に
法人は1996年に
設立された創心会在宅
ケアサービスからスタ



創心会
二神雅一社長

1ト。現在、従業員数は711名、利用者数は約3200名。社会福祉法人創心福祉会、そうしんクリニック茶屋町、農作物の生産販売を行う「ど根性ファーム」などからなる創心会グループを形成しており、高齢者や障害者の在宅生活を支援し

創心会(岡山県倉敷市)は岡山県を中心に、通所介護、訪問介護及び看護、居宅介護支援など、51事業所を展開している法人。自立支援に力を入れており、介護職員にもリハビリの教育を徹底して行っている。来年は複合施設を新設し、高齢者の在宅生活支援体制をさらに強化していく。

介護ビジネスの未来を創る
週刊
高齢者住宅新聞
Elderly Press Newspaper

2021年(令和3年)
11月24日
第651号 (毎週水曜日発行)
(株) 高齢者住宅新聞社
〒104-0061 東京都中央区銀座8-12-15
☎03-3543-6852(編集部)
発行人 網谷敏数
年間購読料 23,100円(送料込・税込)
ホームページ
https://koureisha-jutaku.com

設立以来、リハビリによる利用者のQOL向上に努めている。二神雅一社長は作業療法士として現場で活躍していた90年代、「寝かせきり」状態の高齢者を数多く見てきたと話す。「何でもしてあげる」ケアが普通の時代、リハ専門職として介護に関わり、状況を变えたいという思いがありました

「何のために介護が必要なのか」を丁寧な分析。リハビリの目標と、プログラムを利用者と共に決定していくプロセスを「本物ケア」として重視している。本物ケア実現には専門職だけでなく、一般の介護職にもリハビリに関する高い知識が必要だ。そのため、入職した職員全員を対象に約1年間、全22回の「リハケア講座」を実施している。内容は、リハビリの理論、高齢期の病理、生活環境に

「高齢であっても、障

い方など、自立支援の基礎を学ぶ。「職員全員が、『何のための機能訓練なのか』を理解できる状態を目指しています。目標が理解できると、リハビリの効果が高まるという研究発表に基づいた考えから、これらの取り組みを行っています」(二神社長)。



▲新規開設予定の「創心会リハケアベース大安寺」

アセスメントが鍵

め、9日には岡山市長小林嘉文氏が視察に訪れた。

複合施設を開設 住まい選択肢に

在宅生活の支援体制をさらに強化するため

社会復帰の場、設置

2022年4月、岡山

看護職、求職者数増 前年比8500人プラス

公益社団法人日本看護協会(東京都渋谷区)は19日、2020年度の看護職の求職・求人・就職数、求人数が大きく増加した。看護職の求職者数が7万6244人で、前年比8534人増となった。

日看協

移してきた求人倍率も低下。2.05倍となった。求人数は1万5596件、前年度比2299件増、求人倍率は3.26倍だが、求職者数は4791人で同171人減となっている。

結果のポイント

- 1. 求人倍率
◆求人倍率2.3倍強で推移していたが、20年度は2.05倍に減少
◆訪看ステーションの求人倍率は3.26倍。継続して高水準を維持
- 2. 求人、求職者の状況
◆2019年度と比較して、求人数2339人減、求職者数8534人増
◆「都道府県・保健所」「市区町村・保健センター」は、求人数、求職者数ともに大きく増加

待ちが多い状況だ。サ
高住と看多機を併わせ
持つ施設の開設によっ
て、そのニーズに対応
していくほか、軽度か
ら重度まで様々な介護
度の高齢者に対して、
住まいの選択肢を提供
する。

TOPICS

ニュース・総合	2面
職場の課題改善にチャレンジ	
介護Biz	3~12面
ICTで職員行動変化 記録分析でQOL向上 低栄養改善、リハ、口腔と 施設の取り組み表彰 GH「あたり前の暮らし」再考 SDGsの取組を展示	
人材	13面
在宅ワークでフレックス勤務	
行政	14面
在宅医療、市町村向け手順書作成	
商材・サービス	15・16面
飛沫感染対策パーティー	
関西	17・18面
マンションと病院一体開発 介護経営者から国政へ	
ヘルスケアフォーカス	20面
小僧寿し アニスピHDを子会社化	

- ### 11月25日以降の主な動き
- 11月25日(木)
○高齢者住宅新聞社「科学的介護で変わる施設運営～2024年度同時改定を踏まえた経営戦略とは～」※オンライン開催
 - 11月26日(金)
○パーソル「介護業界の無料DXオンラインセミナー～アフターコロナに必要不可欠な介護事業者の外国人材採用・定着のポイント～」※オンライン開催
 - 11月27日(土)
○明治学院大学社会学部付属研究所「社会福祉実践家の研修会 福祉現

- 場からの実践報告～コロナ禍の女性支援において顕在化した課題～」※オンライン開催
- 一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟「無関心が生む不正義と不誠実を乗り越えるソーシャルワーク教育～鋭敏かつ感性豊かな『想像』と『創造』の力をいかに育むか～」※オンライン開催
- 11月28日(日)
○一般社団法人愛知県社会福祉士会後継者育成委員会「相談援助実習指導者養成研修フォローアップ研修会新・社会福祉士養成カリキュラムの要点とこれからの実習指導のあり方を学ぶ」※オンライン開催

介より始めよ

「今は何でも、
『困りごとがあれば支援する』の一端から、新たな支援策を作るのは良いが、本人の能力を引出す助けにならないうすかね」と、発言があった。2人の「主役は誰か、加を進める目的で、eスポーツ大会が行われた。それについて、忘れはならない」と取材をした際、先づき出た。3年後を目途に80名、最終的には100名まで増員していく考え。